

東近江市立布引小学校

令和6年度
「わたしがやります！
学校CO₂ネットゼロ」
活動報告書

活動テーマ

アルミ缶回収で CO₂削減をはかろう！

取組の概要について

アルミニウムは製造過程で大量の電力が必要である。一方、リサイクル効率が高くペットボトルよりリサイクルコストが安価である。そこで、昨年度より引き続き、アルミ缶リサイクルをより積極的に行うことで、CO₂削減につなげたいと考えた。

【アルミ缶回収の取組】

- ・ PTA 事業として地域の人へもよびかけ、アルミ缶回収を行う。
(6月、11月)
- ・ 常時アルミ缶回収ボックスを設置する。

アルミ缶回収日

学校からアルミ缶回収の案内を配布し、当日、地区に出していただいているアルミ缶を地区担当の保護者が回収にまわり、学校へ搬入をする。学校で保護者、職員、近所の有志児童などで手分けをし、業者の用意したボックスへ入れる。その際、スチール缶を取り除いたり、アルミ缶を潰したり、リサイクルしやすくなるようにした。



アルミ缶回収ボックス

- ・ だれでも持ち込みやすくするため、校門付近に設置をしている。
- ・ 回収ボックスがいっぱいになると、業者へ依頼して、取りに来てもらう。

【成果○と課題●】

- 地域の方を巻き込んだアルミ缶回収の取組は、より多くのアルミ缶を集めることに有効であった。また、本件の内容には沿わないが、地域と学校のつながりをつくる好機となった。
- 常時アルミ缶回収ボックスを設置することで、職員も意識することができ、その意識は、環境教育に関連する日頃の発言を生み出した。
- 地域を題材にした総合的な学習の時間を通して、自分の町に愛着を深めた本校児童である。上記の内容から CO₂の削減に対する意識をもちつつあった子どもたちは、地域を大切にしたいという願いと CO₂削減の思いを統合し、町の清掃活動や町を大切にする啓発ポスターを発案・計画・実施した。本取組が児童の実践的行動に効果的につながったと考える。



【今後の展開】

今後も、アルミ缶回収を継続して行っていく。今後は、この取組に児童が関わる割合を増やすとともに、結果や成果を子どもの言葉で発信することで、CO₂削減の意識を広げていきたい。

学校名	東近江市立布引小学校
住 所	東近江市今堀町581-10
電話番号	0748-23-5840
E-mail	nunosho@higashiomi.ed.jp